



小説

『爆身』

大沢 在昌 著

凄腕のボディガード・キリ。警護を依頼されたニュージーランド在住のフィッシングガイド、トマス・リーが目前で爆死した。キリは謎のフィクサー・睦月に、死の真相について調査を依頼される。リーは生前「自分は呪われている」と話していたという。リーは本当に呪い殺されてしまったのか！？



小説

『若旦那のひざまくら』

坂井 希久子 著

百貨店のバイヤーとして働く長谷川芹は、板倉充と出会う。仕事一筋の芹は11歳も下の充を恋愛相手とみなかったがひょんなことから急接近。芹は会社を辞め、京都に移り住むことを決意するが、充の実家は由緒正しい西陣の織屋、両親は二人の結婚に大反対！そして充には女性の影が…一体どうなる？



小説

『瑕疵借り』

松岡 圭祐 著

ワケあり物件に住み込む藤崎は、不動産業者やオーナーたちにとって絶対になくなくてはならない存在。原発関連死、賃貸人失踪、謎の自殺、家族の不審死…瑕疵告知義務が発生した物件にあえて住む筋金入りの“瑕疵借り”の藤崎は、どうすれば瑕疵を洗い流せるのか、類いまれなる嗅覚でその原因を探し出す。



小説

『蕎麦、食べていけ！』

江上 剛 著

かつての賑わいを失った温泉街。その町で育ち、地元の信用金庫に勤める勇太は、蛇神伝説を基に祭りを開催し、観光客を呼び込むという地元活性化案を企画した。その目玉として、大蛇神輿と高校生の蕎麦打ちイベントを提案する。そんな時、メガバンクに勤める勇太の兄が街のリゾート化計画を持ってくる。街おこしは成功するのか。



小説

『新選組の料理人』

門井 慶喜 著

京の大火「どんだん焼け」で住んでいた長屋を焼かれた菅沼鉢四郎は、妻子ともはぐれ、薩摩や会津の炊き出しの世話になる毎日。ところが会津の炊き出しが食べられたものではなく、思わず「まずい」と言ってしまったその何気ない言葉で、鉢四郎の運命は思わぬ方向へ転がり始める。果たして、はぐれた妻子と会うことはできるのか。



趣味 実用

『理科系の読書術 インプットからアウトプットまでの28のヒント』

鎌田 浩毅 著

「本を読むのが苦行です」著者の勤める京都大学でも、難関の入試を突破したにもかかわらず、そう言う学生は少なくありません。高校までの授業では教えてくれない「本の読み方」について、読書が苦手な人でも仕事や勉強を効率よく進めるためのヒントが満載。理科系による合理的な読書術をまるごと伝授します。



趣味 実用

『ぐるぐる考えてしまう心のクセのなおし方』

清水 栄司 著

ネガティブに考えてしまうのは、性格のせいだとあきらめていませんか？じつは「考え方のクセ」による部分が多いのです。このクセに気がつくことで、誰でも、何歳からでも変わることが出来ます。「考え方」を見直してみませんか？“認知行動療法”のセルフケアメソッドを紹介します。



趣味 実用

『河井継之助 近代日本を先取りした改革者』

安藤 優一郎 著

司馬遼太郎の歴史小説『峠』に書かれたことで、戊辰戦争で敗れ、非業の死を遂げた人物というイメージが強い河井継之助。武士の時代の終わりをいち早く見抜き、藩の財政・藩政の立て直しと、近代化に奔走した「幕末の風雲児」の生き様に迫る。

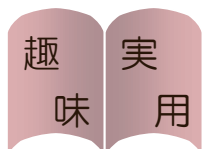


趣味 実用

『やさしい手ぬい』

高橋 恵美子 著

手ぬいは難しくありません。針と糸があれば、ハンカチやスカーフ、手ぬぐいなど、身近なモノが大変身。「手ぬいクラブ」の会報誌「クゼット」から春夏秋冬それぞれの季節にぴったりな全40点を紹介。作り方はイラストでわかりやすい！手ぬいをはじめるならぴったりの一冊です。



趣味 実用

『運命の歌のジグソーパズル』

加藤 登紀子 著

出生から満州引き揚げ、歌手デビュー、結婚、現在に至るまでの波乱の人生を、歌との出会いを通じて描く書き下ろし自伝。海外での活動や、反戦への想い、名曲「知床旅情」や「百万本のバラの花」にこめられた熱いメッセージも今、明かされる。